

第5回 阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進協議会 議事要旨

1. 日時 平成28年2月12日(金) 15:00~17:30
2. 場所 尼崎リサーチインキュベーションセンター 1F多目的ホール
3. 議事
 - (1) 「阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画(H25.3)」について
 - ① 阪神西部地域の取組状況【H27年度の取り組み】
 - ② 指定施設及び指定候補施設
 - (2) 県下における総合治水の取り組み
 - (3) 水防法の改正等について
 - (4) 『減災対策』の取り組み事例紹介(4市)
4. 出席者 43名(ワーキング構成員、協議会委員(オブザーバー)) 別紙参照
5. 配付資料
 - 資料-1 阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱
 - 資料-2 武庫川水系河川整備計画フォローアップ懇話会について
 - 資料-3 阪神西部地域の取組状況【H27年度の取り組み】
 - 資料-4 指定施設及び指定候補施設
 - 資料-5 総合治水の取り組み
 - 資料-6 水防法の改正等について
 - 資料-7 『減災対策』の取り組み事例紹介

【参考資料】

 - 参考資料1 阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画の概要
 - 参考資料2 「命と暮らしをまもるためにできること~これからの治水~」
 - 参考資料3 「手づくりハザードマップ作成のポイント」

【内 容】

- 1 あいさつ（阪神南県民センター センター長）
- 2 設置要綱の改正について（資料－1 を用いて事務局報告）
- 3 武庫川フォローアップ懇話会について（資料－2 を用いて事務局報告）
- 4 議事
 - 4－1 「阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画（H25.3）」について（資料－3, 4 を用いて事務局説明）
 - 4－1－1 阪神西部地域の取り組み状況（H27 年度の取り組み）
 - 4－1－2 指定施設及び指定候補施設
 - 4－2 県下における総合治水の取り組み（資料－5 を用いて事務局説明）
 - 4－3 水防法の改正等について（資料－6 を用いて事務局説明）
 - 4－4 「減災」の取り組み事例照会
（資料－7 を用いて神戸市、芦屋市、伊丹市、篠山市説明）
 - 4－5 取り組みに対する意見等

【県民委員 等】

○平成 25 年度に策定された災害要援護者支援条例に基づき支援体制づくりを行った。第 1 期として、これまでに避難勧告・避難指示が発令された地区を中心に支援体制を整えて防災訓練を完了している。第 2 期として、第 1 期以外の地区の支援体制づくりをほぼ終え、避難訓練や情報伝達訓練などの防災訓練を計画している段階である。

ゴルフ場の調整池等、既存調整池の浚渫は、重要調整池の設置に関する技術基準において維持管理の義務化の範疇に含まれているか。

兵庫県下には 3 万 8000 箇所のため池があり、新聞のデータによれば、そのうち 5500 箇所の点検が完了し、38 箇所について詳細点検が必要という理解で構わないか。ため池の防災対策は非常に重要な課題と認識しており、対応状況についてわかっていることをお聞かせ頂きたい。

○尼崎市社会福祉協議会を中心に行政の力を借り、高層住宅への一時避難ということで、多くのマンションにも協力いただいている。

避難道路の確保を重視して防災マップの作成に取り組んでおり、武庫地区では 8 連協が防災マップづくりに取り組んだ。防災関係の先生

方の協力も頂き、3回会議を行い、充実した地図ができたものと考えている。

○武庫川の拡幅工事を数年前から実施されているが、定期的に浚渫を行わないと、すぐに土砂が堆積してしまう。拡幅と浚渫を合わせて行って欲しい。また、新川など、支川対策についても心配している人も結構いるため、どのように検討されているか聞かせて頂きたい。

雨水の分離の工事を行えば、洪水対策にも随分効果があるのではないか。

地震や津波の際に避難するところが意外に少ない。避難場所の確保をすすめるとともに、逃げるところを住民にPRし、練習もしていかなければならないと考えている。

○減災対策の取り組み事例紹介で、他市のことが非常によく分かった。芦屋市がやっていないことをこれから充実していきたいということで、本日は非常に勉強になった。

○伊丹市では屋外拡声器が各所にあり、非常に整備されている。しかし、これらは外にいる方を対象とされており、部屋の中にいる場合には聞こえない場合もある。携帯を持っていないお年寄りもおられるので、何もしなくても情報が入る体制を作っていかなければならない。

○宝塚市においても垂直避難の取り組みを各自治会の皆さんと進めている。

また、武庫川左岸側の雑木について、減災のためには木はない方がいいと考えるが、住民の方には切るなどと言われる方もいる。今後、県の方ともご相談して、どのあたりまで切るかということも考えていきたい。

○昨年の11月に、区長自治会長会が主体となり、民生・児童委員、婦人会に声掛けをし、今回は小学校と合同で防災訓練を行った。参加者が1000名を超えたが、人数が多すぎたため、内容的には少し薄かったかと思っている。今後は、もう少し小さな単位で防災訓練を行い、例えば、自主防災組織の単位などの形で防災訓練をする中で、防災マップづくりなどの方向にもっていきたいと考えている。

○住民学習会を開き、洪水や避難等に関する知識の学習をしている。

正しい情報を早く伝えることが重要であると思っており、知識に加えて情報伝達が大事だと思っている。市あるいは県から、どのように情報が自治会へ下りてくるのか、一般論でも良いので教えていただければ、我々も対応しやすいのではないかとと思っている。

○地震と津波を想定した避難訓練を2年に1回実施している。しかし、地区全体で9つの町会があり、そういった大きな訓練では難しい面もあることから、昨年はそれぞれの町会で自主防災活動を実施した。その中でアンケートを行ったところ、避難ビルを知らない、避難グッズを準備していない、家庭の中で避難の話をしていないなど、重要なデータが得られた。

知識は広がっているが、実際の行動はなかなか起こせないというのが実態ではないかと思う。要援護者の問題についても、なかなか簡単にはできないということで、これからじっくり取り組まなければならないと思っている。

○減災の中で状況判断するにあたって、実際に関わるのは住民であり、住民の意識が向上しないことには、市の方でいろいろとやっても意味がないと考えている。

住民の世代も変わり、昔の話も分からなくなってきているので、再度、啓蒙啓発して意識向上させるためにはどうしたらよいか考えている。

訓練では、住民の方になかなか危機感を持ってもらえない。いかに興味を持たせるかというところを考えており、最終的には避難訓練の他にイベントなどで子供たちと親も一緒に集まれるような催し物にしていくことがよい。

芦屋川も土砂で少し埋まっており、土砂の浚渫を県で行って頂くこととなっている。これも住民の意識があれば、危険な箇所を指摘して、行政と一緒に取り組んでいくことができるのではないかと感じている。

【関係団体委員】

○総合治水への取り組みとして農協では、田んぼダムについて、高齢化等により荒れた農地を減らす取り組みと合わせて、協力できるのではないかと考えている。また、管内各地域のJA支店において、防災対策の水や食料品の備蓄をすすめている。

○篠山市では、平成 26 年に「ふるさとの森条例」を制定し、325ha の人工林の間伐を 20 年間行うという計画になっている。これを続けていけば減災対策に貢献できると思うが、予算面で非常に厳しいということも行政の方から聞いている。

○昨年の鬼怒川の洪水では、水位の上昇が昼間で逃げるという判断がしやすい時間帯であったにも関わらず、住民は避難せず、ヘリコプターで救出された。また、鬼怒川の洪水はハザードマップの浸水予測とよく合っていたとも言われているが、結果的に活用されなかった。鬼怒川のような洪水は、武庫川の下流部である西宮や尼崎でも起こり得る。住民の方々がハザードマップを見て、自宅が洪水時家屋倒壊危険ゾーンに含まれるのか、浸水深が深いゾーンに含まれるのかといった危険性を認識し、的確な避難行動に結び付くようにと願って活動をしている。

一方、避難所に行くことだけではなく、2 階等への垂直避難も避難行動とされるようになった。地域のリスクを知識として知っても、どのタイミングでどう避難するのかが問題になる。避難行動要支援者を考えると、足元の明るい内に、相当早い段階で逃げるのが大事で、空振り実践訓練と考えればよいと思う。

水防法の改正等で想定し得る最大規模の降雨を前提として区域を見直すと言うことであるが、武庫川の場合、平成 16 年の降雨で 24 時間 247mm とされているが、これは見直しになるか。また、ハザードマップの中でどのように家屋倒壊危険ゾーンと表示されるのか、また、都市計画のような形での強制力のあるものになるのか、そのあたりを教えて頂ければと思う。

【流域圏市委員】

○西宮市の下水道事業では、概ね JR 以南については合流式、JR 以北については分流式となっている。雨水対策としては、雨水管を全部入れ替えるのは難しいので、雨水の貯留管などをつくることで、降雨強度を 47mm から 55mm にアップして、浸水被害の多いところから順次整備を進めている。

校庭貯留については、全体で 60 校の小中学校があるうち、今年度末で 51 校が出来上がるということで、引き続き浸水対策のために整備を進めていきたいと考えている。

第5回 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会出席者名簿【協議会委員】

日時：平成28年2月12日（金）15:00～17:00 場所：尼崎リサーチ・インキュベーションセンター 1F多目的ホール

		協議会委員		協議会出席者	
◎	学	神戸大学教授		出席	大石 哲
県		神戸県民センター	センター長	代理	神戸土木事務所長 宮本 真介
		阪神南県民センター	センター長	出席	松田 直人
		阪神北県民局	局長	代理	宝塚土木事務所長 松本 正利
		丹波県民局	局長	代理	丹波土木事務所長 安川 徳
流域市		神戸市	建設局長	代理	防災部長 林 泰三
		尼崎市	副市長	代理	都市整備局土木部 河港課長 柴田 俊樹
		西宮市	副市長	代理	土木局長 北田 正広
		芦屋市	副市長	代理	上下水道部下水道課長 岩崎 満
		伊丹市	副市長	代理	総務部危機管理室主幹 小谷 浩一
		宝塚市	副市長	代理	都市安全部生活安全室長 足立 孝博
		三田市	副市長	代理	上下水道部長 東仲 益司
		篠山市	副市長	代理	まちづくり部長 梶村 徳全
県民		神戸市北区道場町	連合自治会長	出席	山下 政司
		社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会	理事	出席	松井 定雄
		西宮市東鳴尾町1丁目自治会	会長	出席	米原 正純
		芦屋市自治会連合会	会長	出席	堀 晃二
		伊丹市自治会連合会	代表理事	出席	坂上 啓一
		宝すみれ自治会連絡会	事務局長	出席	森田 大和
		三田市区・自治会連合会	会長	出席	藤村 晴彦
		篠山市波賀野自治会	会長	出席	酒井 正信
関係団体		兵庫六甲農業協同組合（JA兵庫六甲）	常務理事	代理	マネージャー 坂井 正和
		篠山市森林組合	代表理事組合長	出席	加藤 哲夫
		NPO法人ひょうご地域防災サポート隊	理事長	出席	井上 俊廣

◎：協議会会長

第5回 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会出席者名簿【WG構成員】

日時：平成28年2月12日（金）15:00～17:00 場所：尼崎リサーチ・インキュベーションセンター 1F多目的ホール

WG構成員		協議会出席者			地域別WG
県	阪神南県民センター西宮土木事務所兼 阪神北県民局宝塚土木事務所	武庫川対策室長	出席	中村 浩康	座長
	神戸県民センター神戸土木事務所 企画調整担当	所長補佐	出席	樋口 俊光	上流域WG
	神戸県民センター神戸土木事務所 河川課	課長	出席	田村 健	上流域WG
	神戸県民センター県民交流室	室長補佐兼総務防災課長	欠席	園野 礼子	上流域WG
	阪神北県民局宝塚土木事務所 企画調整担当	所長補佐	出席	松尾 進吾	上流域WG 中流域WG
	阪神北県民局宝塚土木事務所兼 阪神南県民センター県民交流室	まちづくり参事	出席	柏樹 容子	上流域WG 中流域WG 下流域WG
	阪神北県民局総務企画室	室長	出席	小田 博則	上流域WG 中流域WG
	阪神北県民局阪神農林振興事務所	副所長	出席	有方 千裕	上流域WG 中流域WG
	丹波県民局丹波土木事務所 企画調整担当	所長補佐	出席	宮本 健一郎	上流域WG
	丹波県民局丹波土木事務所	まちづくり参事	出席	足立 寿伸	上流域WG
	丹波県民局丹波農林振興事務所	副所長	欠席	小野山 直樹	上流域WG
	丹波県民局県民交流室	室長補佐兼総務防災課長	欠席	近藤 貴彦	上流域WG
	阪神南県民センター西宮土木事務所 企画調整担当	所長補佐	出席	野崎 敏	下流域WG
	阪神南県民センター尼崎港管理事務所	副所長	出席	金川 正敏	下流域WG
	阪神南県民センター県民交流室	次長	代理	総務防災課担当課長補佐 中村 雅信	下流域WG
	流域圏市	神戸市建設局防災部河川課	課長	出席	原 正太郎
神戸市危機管理室		計画担当課長	出席	清水 陽	上流域WG
神戸市建設局下水道河川部		保全企画担当課長	出席	脇本 英伸	上流域WG
神戸市北区役所総務課		課長	欠席	仲田 光男	上流域WG
三田市都市整備部道路河川課		課長	欠席	江田 政憲	上流域WG
三田市経済環境部農業振興課		課長	欠席	青野 敬	上流域WG
三田市総務部		次長兼防災安全課長	欠席	本荘 敏和	上流域WG
篠山市市民生活部市民安全課		課長	欠席	西牧 成通	上流域WG
篠山市農都創造部農都整備環境課		課長	欠席	竹見 聖司	上流域WG
篠山市まちづくり部地域整備課	課長	出席	近成 和彦	上流域WG	

流域圏市	伊丹市総務部危機管理室	主幹	出席		小谷 浩一	中流域WG
	伊丹市都市活力部都市整備室都市計画課	課長	出席		巽 一嘉	中流域WG
	伊丹市上下水道局整備保全室建設課	課長	出席		柳澤 守	中流域WG
	宝塚市都市安全部生活保全室	室長兼水政課長	出席		足立 孝博	中流域WG
	宝塚市上下水道局施設部下水道課	課長	出席		金岡 厚	中流域WG
	宝塚市都市整備部都市整備室都市計画課	課長	欠席		下野 泰弘	中流域WG
	宝塚市都市安全部危機管理室総合防災課	課長	代理	危機管理室長	小川 清次	中流域WG
	宝塚市都市整備部都市整備室開発指導課	課長	欠席		豊田 善弘	中流域WG
	尼崎市都市整備局土木部河港課	課長	出席		柴田 俊樹	下流域WG
	尼崎市総務局防災安全部防災対策課	課長	出席		藤井 大輔	下流域WG
	尼崎市都市整備局下水道部計画担当	課長	出席		長岡 敬一	下流域WG
	尼崎市都市整備局都市計画部開発指導課	課長	代理	課長補佐	松崎 純治	下流域WG
	西宮市土木局道路公園部水路治水課	課長	出席		尼子 剛志	下流域WG
	西宮市防災危機管理局防災総括室防災啓発課	課長	出席		溝口 勝也	下流域WG
	県民	西宮市都市局都市計画部都市計画課	課長	代理	係長	奥田 晃久
芦屋市上下水道部下水道課		課長	出席		岩崎 満	下流域WG
芦屋市都市建設部都市計画課		課長	欠席		東 実	下流域WG
芦屋市都市建設部防災安全課		課長	出席		津賀 学	下流域WG
神戸市北区道場町連合自治会		会長	出席		山下 政司	上流域WG
三田市区・自治会連合会		会長	出席		藤村 晴彦	上流域WG
さんだ防災リーダーの会		前会長	欠席		藤野 稔	上流域WG
篠山市波賀野自治会		会長	出席		酒井 正信	上流域WG
伊丹市自治会連合会		代表理事	出席		坂上 啓一	中流域WG
宝すみれ自治会連絡会		事務局長	出席		森田 大和	中流域WG
社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会		理事	欠席		倉本 敏克	下流域WG
西宮市東鳴尾町1丁目自治会		会長	出席		米原 正純	下流域WG
西宮市用海地区団体協議会防災会		会長	出席		西川 彰一	下流域WG
芦屋市自治会連合会		会長	出席		堀 晃二	下流域WG
芦屋市自主防災会連絡協議会		会長	出席		天井 裕一	下流域WG

第5回 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会出席者名簿

【流域圏関係部局】


所属等	氏名
神戸市建設局防災部防災課防災係長	宮川 一郎
神戸市建設局河川課計画調整係長	末久 広朗
神戸市建設局河川課計画調整係担当	谷口 麻衣
尼崎市都市整備局土木部河港課係長	津川 直子
尼崎市都市整備局土木部河港課技手	本多 洸一
西宮市土木局道路公園部水路治水課係長	田中 淳司
芦屋市上下水道部下水道課係長	夏川 龍也
三田市都市整備部道路河川課副課長	石黒 正彦

【県関係部局】

所属等	氏名
県土整備部土木局総合治水課武庫川総合治水室室長	合田 仁
県土整備部土木局総合治水課武庫川総合治水室班長	當舎 良章
県土整備部土木局総合治水課武庫川総合治水室主査	衣笠 秀隆
県土整備部土木局総合治水課武庫川総合治水室	杉 陽生
県土整備部土木局総合治水課武庫川総合治水室	稲山 諒
県土整備部土木局河川整備課班長	平井 克尚
阪神南県民センター西宮土木事務所河川砂防課長	飯田 英喜
丹波県民局丹波土木事務所企画調整担当主任	椿 美和
丹波県民局丹波土木事務所河川課長	中田 和秀

【事務局】

所属等	氏名
阪神南県民センター西宮土木事務所武庫川対策室長	中村 浩康
阪神南県民センター西宮土木事務所企画調整担当所長補佐	野崎 敏
阪神南県民センター西宮土木事務所武庫川対策室武庫川事業課長	藤田 幸治
阪神南県民センター西宮土木事務所武庫川対策室武庫川事業課	中西 裕紀
阪神南県民センター西宮土木事務所企画調整担当	村上 雄哉

議事録署名人  井上 俊彦